

「令和5年度 第1回 宮原小学校学校運営協議会」の記録

◎日時・場所：令和5年6月1日（木） 10：30～11：40 於：第2会議室

◎記録者：教頭

1 校長あいさつ

- ・5月より、コロナに関する制限が解除となった。
- ・この運営協議会で今年度の教育活動について様々な御意見をいただきたい。
- ・昨年度は、150周年記念式典があった。今年度は、大きな行事はないが、コロナ前に行っていた行事を復活させていただきたい。
- ・この学校運営協議会の協議を基に、家庭、地域と協働していきたい。小中で連携していくために、宮原中学校の地域連携コーディネーターを委員としてお願いした。
- ・新PTA会長の紹介。

2 自己紹介

3 委嘱状交付

- ・校長と教頭が各委員の席に出向いて委嘱状を読み上げ、手渡した。

4 委員長・副委員長について

- ・委員長・副委員長の推薦と承認
- ・委員長より：「宮原公民館と宮原小学校のつながり、宮原小学校と地域とのつながりについて」お話をいただいた。「宮原小学校の児童の育成とともに、地域の活性化も目的になっている。よりよい児童の育成、よりよい地域社会にしていくために御協力をお願いしたい。」

5 宮原小コミュニティスクールについて

コミュニティスクール（学校運営協議会）設置について

- ・各委員に配付された会議資料の3～6ページに基づいて、教頭が「子どもを核とした地域づくりが役割となること」「コミュニティスクール組織図」「令和4年度 学校自己評価システムシート」の3点を説明した。

学校経営方針、学校自己評価システムシートについて

- ・会議資料の7～11ページに基づいて、内山校長が「本校の概要」「本校の学校経営」の2点を説明した。
- ・今年度コロナの制限がなくなったので、子どもたちに「わくわくドキドキする授業」を展開していきたい。
- ・運営協議会で決められた内容を地域に広めていきたい。
- ・「3つの基本」は宮原中、大宮別所小、宮原小で決めて推進している内容である。
- ・11ページ「学校自己評価システムシート」、委員の皆様にご理解をいただき、評価をしていただく。

※令和5年度学校経営方針、学校自己評価システムシートについて承認された。今後何かお気づきの点があれば、電話等で御連絡いただくこととした。

いじめ防止基本方針について

- ・生徒指導主任が、各委員に別途配付した「令和5年度 宮原小学校いじめ防止基本方針」と題する資料に基

づいて、いじめの定義、いじめ防止に向けて取り組むための組織、いじめの未然防止、いじめの早期発見、いじめの対応、重大事態への対応についてそれぞれの概要について説明した。いじめの現状（報告件数等）と課題について説明した。校内でも、児童会を中心としていじめに関する取組、教職員への研修を進めていくことを説明した。

- ・長期欠席者の現状と保護者との連携について説明をした。
- ・非行問題行動として、令和4年度は子どもたちだけのショッピングモールへの外出、お金の使い方のトラブルがあった。

質疑応答

- ・「下校時あぶない行動をしている児童に、声をかけることがある。ベストや名札をつけていないと、不審者から声をかけられたと誤解されることがある。そういったときはどうしたらよいか。」
→生徒指導主任から「お声がけを躊躇される場合は、その子の特徴を学校に教えていただきたい。その後、学校で児童を特定し指導をしていきたい。また、地域の方から指導をいただくことがあるということは、子どもたちに伝えていく。」と述べた。

6 熟議『スローガン「つなげよう あいさつ 伝えよう ありがとう 深めよう きずな ～学校・家庭・地域が手を取り合って～」実行のための手立てについて』

- ・3グループに分かれての熟議に先立ち、教頭より熟議の進め方について説明があった。会議資料の13ページに基づいて、スローガンの内容の具現化のために、保護者・地域・学校それぞれが取り組めることは何かについて意見を出し合っていたことを伝えた。

各グループ発表

- ・グループ① 学校に来ると挨拶ができるのに……。家庭では、挨拶を基本として行っていく。地域では、子どもが挨拶するまで声をかけ続ける、また、地域で活動する方を、子ども・保護者に知ってもらう。
- ・グループ② あいさつロードをつくるなどのあいさつ運動 地域との交流を充実させ、顔見知りを増やす。知らない人にはあいさつをできない。スローガンの作成、何か対応してもらったら大人も子どもも「ありがとうございます。」と言う。自ら自主的にあいさつをする子の育成。
- ・グループ③ 大人はあいさつをし続ける。地域で活動していることを保護者や子どもたちが知らないので、知る機会を設けていく。そうすることで顔を知り、あいさつを返してくれるのではないか。地域ではあいさつしてくれなくても、学校内ではよくあいさつをしてくれる。その違いは何なのか。学校でも、旗を振っている方、緑ベストの方には積極的に挨拶を、という指導が必要であろう。

7 諸連絡

- ・教頭より、第2回の連絡とともに、今回まとめていただいた内容をいよいよ実行していく段階に入ると説明をした。各団体で実践をいただき、第2回場でやってみての様子を御報告いただきたいと伝えた。